

## 2023（令和5）年伊賀市10大（重大）ニュース

3月	川上ダム建設事業が完了、4月から管理運用を開始
4月	市立小中学校の給食無償化を開始
4月	依那古小・比自岐小・神戸小を統合し「上野南小学校」が開校
4月	大山田と島ヶ原の両温泉施設を民営化
5月	民法改正後初の「18歳での成人式」を実施
8月	デマンド型予約式の行政バス「島ヶ原ぐるり号」の実証運行が始まる
9月	医療費の窓口負担の無料化を中学生まで拡大
10月	「上野天神祭」4年ぶりの通常開催で19万5千人の人出
10月	伊賀生まれ、伊賀育ちの伊賀牛が初出荷
11月	公民連携でDMG森精機（株）が「SHINDO YARDS」をオープン

## 2023（令和5）年伊賀市10大（重大）ニュース概要

3月	川上ダム建設事業が完了、4月から管理運用を開始
1967年の予備調査着手（建設省）から約半世紀の歳月を経て、川上ダム建設事業が完了し、26日に建設事業完了式が行われました。4月から管理運用を開始し、洪水被害の軽減と安定した水の供給など、今まで以上に市民生活の安全安心が高まることが期待されます。	
4月	市立小中学校の給食無償化を開始
食育の推進と保護者への子育て支援を目的に、市立小中学校で提供する給食にかかる費用の無償化を開始しました。食を保証していくことは、子どもたちの健やかな成長につながります。給食を通じ子どもの成長をしっかりと支援するとともに、家庭での食生活の充実や朝食を取りやすい環境をつくり、食育の充実を推進していきます。	
4月	依那古小・比自岐小・神戸小を統合し「上野南小学校」が開校
児童数の減少のため、3校（依那古小学校、比自岐小学校、神戸小学校）を統合し、新たに上野南小学校が開校しました。この統合により、2004（平成16）年度に策定した「校区再編計画」に基づく学校統合等は終了しました。今後も児童生徒数の減少と、それに伴う学校の急速な小規模化が進んでいくことが予想されることから、地域の実情を踏まえた望ましい学校区や教育環境のあり方について検討を進めることとしています。	
4月	大山田と島ヶ原の両温泉施設を民営化
市の指定管理施設であった大山田と島ヶ原の両温泉施設を、地域活性化のための温泉継続に向けて公募型プロポーザル方式により民間事業者へ売却し、新しい事業者による運営が始まりました。	
5月	民法改正後初の「18歳での成人式」を実施
昨年4月から民法改正により成年年齢が18歳に引き下げられました。これに伴い、4日に18歳を対象とした初の成人式を行いました。新成人を祝福するとともに、新成人たちが社会的な責任を持ち、大人の社会へ仲間入りすることを自覚する節目となりました。	

8月	デマンド型予約式の行政バス「島ヶ原ぐるり号」の実証運行が始まる
----	---------------------------------

市内のバスの利用者数は減少傾向にあり、決まった時間に決まったルートを走る定時定路線型では、一部の路線で非効率な運行が続いているため、新たな運行形態の導入を検討してきました。改善策として、島ヶ原地域をモデル地区に選定し、地域や関係機関と協議を重ねながら検討を進め、伊賀市で初めてのデマンド型予約式のバス「島ヶ原ぐるり号」の実証運行を28日から開始しました。

9月	医療費の窓口負担の無料化を中学生まで拡大
----	----------------------

県内の医療機関などを受診した時の窓口負担無料化（現物給付）の対象を、小学校就学前の子どもから中学校卒業までの子どもに拡大するとともに、受給資格の認定にかかる保護者の所得制限をなくしました。

10月	「上野天神祭」4年ぶりの通常開催で19万5千人の人出
-----	----------------------------

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「上野天神祭のダンジリ行事」が秋晴れのもと、4年ぶりにコロナ禍前の通常の形で開催されました。3日間で市内外から約19万5千人の人出で賑わいました。この時期、市内の各地でも多くの行事が行われ、コロナ禍前の賑わいへと回復の兆しが見えました。

10月	伊賀生まれ、伊賀育ちの伊賀牛が初出荷
-----	--------------------

伊賀地域畜産クラスター協議会では、伊賀産肉牛の増頭と安定供給を目的に、市内酪農事業者と肥育農家が連携した「伊賀生まれ・伊賀育ち」伊賀牛地域内一貫肥育モデル事業を進めてきました。本事業で最初に肥育されたモデル牛が10月に初出荷され、現在、モデル事業で生まれた牛52頭が肥育農家などで飼育されています。これを機に、伊賀牛の増頭や安定的な流通につながることを期待されます。

11月	公民連携でDMG 森精機（株）が「SHINDO YARDS」をオープン
-----	-------------------------------------

伊賀市とDMG 森精機株式会社との包括的連携協定に基づき、6日、JR 関西本線新堂駅前にオープンした複合施設「SHINDO YARDS」へ伊賀支所といがまち図書室が移転しました。その他に金融機関が同居しています。伊賀市とDMG 森精機株式会社が共同運営する図書館「BOOKMARK STRAGE」<sup>ブックマーク</sup>には、2万冊の蔵書があり、1階にはギャラリーやカフェも併設されています。駅前<sup>ストレージ</sup>の賑わい創出につながることを期待されており、すでに多くの市民に利用いただいています。

また、DMG 森精機株式会社では、9月から健康づくりやスポーツ振興を図るとともに、地域の交流拠点として機能する屋内体育館施設である「DMG MORI アリーナ」（旧 三重県立ゆめドーム）を運営しています。